

建設技術展等の開催報告

ゆきみらい 2018 in 富山
開催報告

(前) 国土交通省 北陸地方整備局 企画部 広域計画課

しらとり あつお
白鳥 篤央

(前) 施工企画課

まつむら じゅん
松村 潤

1. はじめに

平成 30 年 2 月 8 日 (木), 9 日 (金) の 2 日間にわたり, 富山県富山市において「ゆきみらい 2018 in 富山」として, シンポジウム, 研究発表会, 見本市 (いずれも富山県民会館), 除雪機械展示・実演会 (富山県五福公園) の 4 つのイベントを開催しました。

開催直前の 2 月 4 日からは強い寒気の南下により, 北陸地方では大雪に見舞われるなか, 幸いにも期間中は天候が安定し, 2 日間で延べ 7,240 名の方々にご来場いただき, 盛況のうちに無事終了することができました。

2. ゆきみらいシンポジウム

・開催日時:

平成 30 年 2 月 8 日 (木) 14:00 ~ 17:00

・開催場所: 富山県民会館 2 階ホール

・来場者数: 610 名

ゆきみらいシンポジウムは 2 部構成とし, 第 1 部の基調講演では, NHK の人気番組「ブラタモリ」の初代プロデューサーで NHK 編成局コンテンツ開発センターチーフ・プロデューサーの尾関憲一氏に『雪国富山 プラ歩きで見える明日のみらい』と題して, ご講演をいただきました。

「自分のそばにあるけれども気づかないことや, 大きいニュースの狭間にあるようなものを番組にできたら楽しいのではと思い番組を企画してきた」, 「一生懸命になれることを持っていることで暮らしを楽しくする方法とかヒントを番組にできたらなと思うようになり, その延長線上からブラタモリは始まった」など, 番組制作にあたって大切にされている想いや, 番組制作を通じて見えてきた街に隠れている魅力など地域の魅力再発見のヒントにつながるお話がありました。番組の裏話には笑いが起きたり感心したりと, 会場は大いに盛り上がりました (写真-1)。

引き続き行われたパネルディスカッションでは, コーディネーターに富山大学 地域連携推進機構教授 金岡省吾氏, パネリストには NPO 法人デイサービス「このゆびと〜まれ」理事長 惣



写真-1 基調講演の様子

万佳代子氏，富山県立山カルデラ砂防博物館学芸課長 飯田肇氏，和歌山大学観光学部准教授 永瀬節治氏，温泉エッセイスト，VISIT JAPAN 大使 山崎まゆみ氏をお迎えし，基調講演の尾関氏にもコメンテーターとしてご参加いただき，「温か～いまちづくりで世界につむぐ」をテーマに雪国富山の魅力，地域活性の推進などについて議論していただきました（写真－2，3）。

富山の雪は，貴重な水資源であるとともに，立山の雪の壁，回廊など世界でもここにしかない景観を創出し，外国人観光客にも非常に人気があるとともに，良質な温泉も生み出していること。五箇山の合掌造り集落が世界遺産となったのは建築の特長だけではなく，豪雪を背景とした独特な文化が評価されたこと。さまざまな雪国富山の魅力を磨き，魅力を発信し，リピーターとなってもら

うには，「知らずに見るのと知ってから見るのでは大違い，もう一度来てみたい」という先日富山を訪れたタモリさんの言葉を用いて，ガイドなど魅力を伝えられる人や仕組みの整備が大事である，とのお話をいただきました。

豪雪に見舞われているこのような時であるからこそ「いや，幸福度全国トップ3は，福井，富山，石川だ」と雪国の魅力を発信することで，より地元のよさが伝わりとの発言もあり，雪の大変さはあるものの，雪とともにある富山の魅力を前向きにとらえた熱心な議論に時間はオーバーぎみでした。

3. ゆきみらい研究発表会

・開催日時：

平成30年2月9日（金）9：30～16：15

・開催場所：富山県民会館2階ホール（2会場）

・来場者数：650名

ゆきみらい研究発表会は，雪国に住む多くの人たちが，安心・安全で快適な生活を続けられる雪氷技術の開発と普及を目的とし，今日的な課題である「異常降雪への備えと対応（特定テーマ）」，「冬期道路管理のICTと担い手」，「地域に根ざした雪国の生活や観光」をテーマに，応募のあった77編のうち40編の論文について発表がありました。また，展示室において8編のポスターセッションも合わせて行いました（写真－4，5）。



写真－2 パネルディスカッションの様子



写真－3 シンポジウム会場内の様子



写真－4 研究発表会の様子



写真-5 ポスターセッション会場



写真-6 見本市会場内の様子

4. ゆきみらい見本市 (同時開催) 富山のいっぴんマルシェ

・開催日時：

平成30年2月8日(木) 10:00～17:00

平成30年2月9日(金) 9:00～16:00

・開催場所：富山県民会館1階，地下1階

・来場者数：3,900名

ゆきみらい見本市は、雪氷技術に関する最新情報の展示と情報交換を目的に開催しました。

今回は、49団体からのブース出展があり、最新機器や先端技術を紹介する各ブースでの説明に、多くの来場者が熱心に耳を傾けていました(写真-6)。

また、開催地 富山が誇る食や観光情報等が一堂に会する「富山のいっぴんマルシェ」も同時開催しました。

「富山のいっぴんマルシェ」では、こだわりの食の販売や、観光情報の紹介が行われ、また、スペシャルイベントとして、ます寿しの無料振る舞いも行われ、会場は2日間とも大きな賑わいを見せていました(写真-7, 8)。



写真-7 富山のいっぴんマルシェ会場



写真-8 大行列となったスペシャルイベント

5. 除雪機械展示・実演会

・開催日時：

平成30年2月8日（木）10：00～16：00

平成30年2月9日（金）9：00～15：00

・開催場所：富山県五福公園駐車場

・来場者数：1,900名

除雪機械展示・実演会では、高度化された最先端の除雪機械や装置等を紹介し、冬期の道路交通確保と雪国の生活を支える除雪機械について理解を深めていただこうと、13の企業・団体による出展で開催されました（写真－9）。

展示会場内では、各社等の除雪機械による実演も随時行われました。

北陸地方整備局からもICTを活用した除雪機械として、除雪作業をアシストする「作業ガイダンス装置」を出展し、実演会では2名の女性職員（事務官、技官）が実際の除雪機械に搭乗して実演を行い、会場を盛り上げました（写真－10、11）。

また、将来の担い手となる県立富山工業高等学校の生徒80名も見学を訪れ、最新の除雪機械に関心を持った様子でした（写真－12）。

6. おわりに

「ゆきみらい2018 in 富山」は、北陸地方では大雪に見舞われるなか、開催を心配する声も多く寄せられましたが、幸いにも期間中は天候が安定し、無事予定どおり開催することができ、多くの方々にご来場いただきました。

今回の大雪で改めて除雪等の克雪対策が重要であることを再認識するとともに、さまざまな分野で活躍されている方々からの貴重なご意見をいただき、雪国富山の魅力を再発見する機会となりました。

最後に、ご来場いただいた方々、開催に向けてご尽力いただいた関係機関の皆様にご心より感謝申し上げます。

次回は山形県新庄市でお会いしましょう。



写真－9 除雪機械展示・実演会会場全景



写真－10 作業ガイダンス装置の展示



写真－11 女性職員による操作実演



写真－12 富山工業高等学校の生徒による見学